



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 成学社 上場取引所 東
コード番号 2179 URL <https://www.kaisei-group.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 山本 一之 (TEL) 06-6373-1571
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,365	3.5	△446	—	△443	—	△311	—
2023年3月期第1四半期	2,284	△0.5	△453	—	△447	—	△305	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △318百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △309百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△56.08	—
2023年3月期第1四半期	△55.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,352	2,786	33.4
2023年3月期	8,512	3,151	37.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 2,786百万円 2023年3月期 3,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,070	4.6	△24	—	△32	—	△54	—	△9.74
通期	13,257	4.6	729	2.4	714	△1.9	406	△3.6	73.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	5,876,000株	2023年3月期	5,876,000株
2024年3月期1Q	328,060株	2023年3月期	327,760株
2024年3月期1Q	5,548,203株	2023年3月期1Q	5,550,038株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、事業ドメイン「乳幼児から社会人までの教育および保育を基本とする教育企業」の下、主力の学習塾ブランドである「個別指導学院フリーステップ」に加え、クラス指導の学習塾「開成教育セミナー」、認可保育所「かいせい保育園」、外国人留学生を対象とした「開成アカデミー日本語学校」等を運営し、幅広い教育及び保育ニーズに応え、事業展開を行っております。

当第1四半期連結累計期間における売上高は2,365,179千円（前年同期比3.5%増）、営業損失446,223千円（前年同期は営業損失453,002千円）、経常損失は443,148千円（前年同期は経常損失447,418千円）、法人税等調整額の計上等により親会社株主に帰属する四半期純損失は311,123千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失305,868千円）となりました。

なお、当社グループの第1四半期の業績は、収益の基盤となる塾生数が少ない期間であること、収益性の高い講習会・特別授業を実施しない期間であること等により、例年、営業損失を計上する傾向にあります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①教育関連事業

クラス指導部門では、塾生募集が不調だったものの、個別指導部門では、塾生数の増加、授業料改定を行ったこと等により学習塾部門の売上高は増加いたしました。保育部門では、園児数減少に伴う給付金の減少、運営補助金の確定後精算返戻金の増加等により売上高は減少いたしました。その他の指導部門では、外国人の入国再開により「開成アカデミー日本語学校」の学生が増加したこと、学校法人からの学校案内やホームページ作成の受注が増加したこと等により、売上高は増加いたしました。

また、塾生数の増加に伴う人件費等の増加、採用強化に伴う求人広告費の増加、事務用パソコンの入替に伴う備品費の増加等により、費用は増加いたしました。

この結果、売上高は2,339,943千円（前年同期比3.4%増）、セグメント損失（営業損失）は434,869千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）439,831千円）となりました。

②不動産賃貸事業

入居するテナントが増加したことから、売上高は10,190千円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益（営業利益）は4,810千円（前年同期比4.5%増）となりました。

③飲食事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止の行動制限の解除により来客者数が増加したこと、価格改定を行ったこと等により、売上高は15,044千円（前年同期比27.8%増）となりました。原材料費や人件費の増加等があったものの売上高の伸びで吸収し、セグメント損失（営業損失）は2,319千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）3,467千円）と改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から160,198千円(1.9%)減少し、8,352,754千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から363,710千円(11.1%)減少し、2,908,084千円となりました。これは主として現金及び預金が前連結会計年度に比べ56,467千円増加し、営業未収入金及び契約資産が前連結会計年度に比べ406,071千円、商品が同17,450千円減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末から203,512千円(3.9%)増加し、5,444,669千円となりました。これは主として投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が前連結会計年度に比べ134,636千円、建物及び構築物(純額)が同56,730千円増加したことによります。

負債は前連結会計年度末から205,309千円(3.8%)増加し、5,566,621千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から226,392千円(7.2%)増加し、3,379,399千円となりました。これは主として短期借入金が増加し、前連結会計年度に比べ600,000千円増加し、賞与引当金が前連結会計年度に比べ172,812千円、未払法人税等が同159,532千円減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度末から21,083千円(1.0%)減少し、2,187,221千円となりました。これは主としてその他に含まれるリース債務が前連結会計年度に比べ9,381千円増加し、長期借入金が増加し、前連結会計年度に比べ31,938千円減少したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末から365,507千円(11.6%)減少し、2,786,133千円となりました。これは主として利益剰余金が増加し、前連結会計年度に比べ358,283千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、前回公表(2023年5月15日)の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,702,576	1,759,044
営業未収入金及び契約資産	1,178,626	772,555
商品	57,861	40,410
貯蔵品	14,603	16,296
その他	326,409	327,829
貸倒引当金	△8,282	△8,051
流動資産合計	3,271,795	2,908,084
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,361,422	4,469,976
減価償却累計額	△1,865,860	△1,917,683
建物及び構築物(純額)	2,495,562	2,552,292
土地	1,107,259	1,107,259
その他	1,092,155	1,111,686
減価償却累計額	△897,914	△903,566
その他(純額)	194,240	208,119
有形固定資産合計	3,797,062	3,867,671
無形固定資産		
のれん	15,534	14,237
その他	171,639	172,808
無形固定資産合計	187,173	187,045
投資その他の資産		
差入保証金	907,964	906,227
その他	348,956	483,724
投資その他の資産合計	1,256,921	1,389,952
固定資産合計	5,241,157	5,444,669
資産合計	8,512,952	8,352,754

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	157,221	68,591
短期借入金	-	600,000
1年内返済予定の長期借入金	823,912	815,039
未払法人税等	177,156	17,623
前受金	782,361	758,302
賞与引当金	226,452	53,640
その他	985,902	1,066,201
流動負債合計	3,153,007	3,379,399
固定負債		
長期借入金	1,615,179	1,583,240
退職給付に係る負債	7,412	7,365
資産除去債務	490,613	491,912
その他	95,099	104,702
固定負債合計	2,208,304	2,187,221
負債合計	5,361,311	5,566,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,108	235,108
資本剰余金	178,349	178,349
利益剰余金	3,027,852	2,669,568
自己株式	△265,655	△265,655
株主資本合計	3,175,654	2,817,370
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△24,013	△31,237
その他の包括利益累計額合計	△24,013	△31,237
純資産合計	3,151,640	2,786,133
負債純資産合計	8,512,952	8,352,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	2,284,579	2,365,179
売上原価	2,253,751	2,318,141
売上総利益	30,828	47,037
販売費及び一般管理費	483,830	493,261
営業損失(△)	△453,002	△446,223
営業外収益		
受取利息	1,565	781
為替差益	6,289	5,625
その他	5,736	3,784
営業外収益合計	13,591	10,190
営業外費用		
支払利息	6,539	5,666
その他	1,469	1,448
営業外費用合計	8,008	7,115
経常損失(△)	△447,418	△443,148
特別利益		
事業譲渡益	14,512	3,772
特別利益合計	14,512	3,772
特別損失		
減損損失	35	948
特別損失合計	35	948
税金等調整前四半期純損失(△)	△432,942	△440,324
法人税、住民税及び事業税	6,822	5,235
法人税等調整額	△133,896	△134,435
法人税等合計	△127,074	△129,200
四半期純損失(△)	△305,868	△311,123
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△305,868	△311,123

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△305,868	△311,123
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,300	△7,223
その他の包括利益合計	△3,300	△7,223
四半期包括利益	△309,169	△318,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△309,169	△318,347
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
学習塾部門	1,834,666	—	—	1,834,666	—	1,834,666
保育部門	318,099	—	—	318,099	—	318,099
その他の指導部門	110,485	—	—	110,485	—	110,485
飲食	—	—	11,773	11,773	—	11,773
顧客との契約から 生じる収益	2,263,251	—	11,773	2,275,025	—	2,275,025
その他の収益	—	9,554	—	9,554	—	9,554
外部顧客への売上高	2,263,251	9,554	11,773	2,284,579	—	2,284,579
セグメント間の内部 売上高又は振替高	210	5,512	—	5,722	△5,722	—
計	2,263,461	15,066	11,773	2,290,302	△5,722	2,284,579
セグメント利益又は 損失(△)	△439,831	4,604	△3,467	△438,694	△14,308	△453,002

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△14,308千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において35千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
学習塾部門	1,886,578	—	—	1,886,578	—	1,886,578
保育部門	305,034	—	—	305,034	—	305,034
その他の指導部門	148,331	—	—	148,331	—	148,331
飲食	—	—	15,044	15,044	—	15,044
顧客との契約から 生じる収益	2,339,943	—	15,044	2,354,988	—	2,354,988
その他の収益	—	10,190	—	10,190	—	10,190
外部顧客への売上高	2,339,943	10,190	15,044	2,365,179	—	2,365,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	405	5,512	—	5,917	△5,917	—
計	2,340,348	15,703	15,044	2,371,096	△5,917	2,365,179
セグメント利益又は 損失(△)	△434,869	4,810	△2,319	△432,378	△13,845	△446,223

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△13,845千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において948千円であります。